

研究課題名：

頭頸部癌治療後の咽頭狭窄に対する内視鏡治療について

1. 研究の対象

2018年1月から2020年3月までに当院にて頭頸部治療後の咽頭狭窄の治療のため全身麻酔下に内視鏡治療を受けた方

2. 研究目的・方法

頭頸部治療を行った後咽頭狭窄が発生し、嚥下困難になる場合が時々発生します。今まで咽頭狭窄が発生した場合は内視鏡的に拡張を行うかあきらめて胃ろうよりの栄養に頼るかのどちらかでした。今回、当院で咽頭拡張のための内視鏡的切開を行いその経過および結果を検討しております。結果が好ましいものであった場合、当院のみならず全国の治療後咽頭狭窄による嚥下困難患者への朗報となる可能性があります

ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、当院倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

この研究では患者さんのカルテの診療情報を利用させていただきます。利用させていただく診療情報は次のようなものです。

治療歴、嚥下の状況（治療前後）

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：宮城県立がんセンター治験・臨床研究管理室 倫理審査委員会担当 寺島 貴之

〒981-1293 宮城県名取市愛島塩手字野田山 47 の 1 TEL 022-384-3151(代表) (内線
974) 研究責任者: 宮城県立がんセンター頭頸部外科 医療部長浅田行紀